

やちまた

平成27年(2015年)
第 201 号 (8月1日発行)

市議会だより



雨水のとおり 地下10mでいたずら？

八街東小の4年生が、ほぼ完成した雨水幹線の見学を行いました。トンネルの開通を祝って、自分の好きな絵を描くなど楽しみました。

八街市イメージキャラクター



ビーちゃん

ナッチちゃん

八街市

主な内容

6月定例会

- 提出議案の主な内容 2～3P
- 新副議長紹介・議案質疑・意見書の提出 4～5P
- 各常任委員会の内容 5～6P
- 一般質問(個人 13 人) 7～13P
- 議会日誌 14P
- 審議された議案と結果 15P
- 選挙啓発 16P

**審議された案件は、議案10件、発議案4件、
請願1件でした。**
一般質問は13名の議員がおこないました。



6月定例会

提出議案の主な内容（紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します。）

条 例

◆市税条例等の二部改正

○個人市民税関係

- ①個人市民税に係る住宅ローン控除の適用年度を2年延長。（平成39年度まで↓平成41年度まで）
- ②ふるさと納税について、個人市・県民税に係る寄附金税額控除の申告手続きを簡素化。（平成27年4月1日以降の寄附から適用）

○固定資産税関係

- ①サービス付き高齢者向け住宅である貸家住宅で、一定の要件を満たすものに係る固定資産税の減額の割合を、わがまち特例制度により3分の2。（平成27年4月1日以後に新築された貸家住宅が対象。従前の減免割合及びその参酌基準は、いずれも3分の2）

○軽自動車税関係

- ①3輪以上の軽自動車以外の軽自動車等に係る軽自動車税について、平成27年度分から増税するとしていたものを1年先送りし、平成28年度から増税。
- ②3輪以上の軽自動車のエコカーに該当する軽自動車税について、平成28年度分限り減額。（平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に新規登録された軽自動車対象）

◆国民健康保険税条例の二部改正

- 国民健康保険税における5割軽減及び2割軽減判定所得の基準額を引き上げ、低所得者の国民健康保険税における軽減措置の拡充。（平成27年度以後の年度分適用）

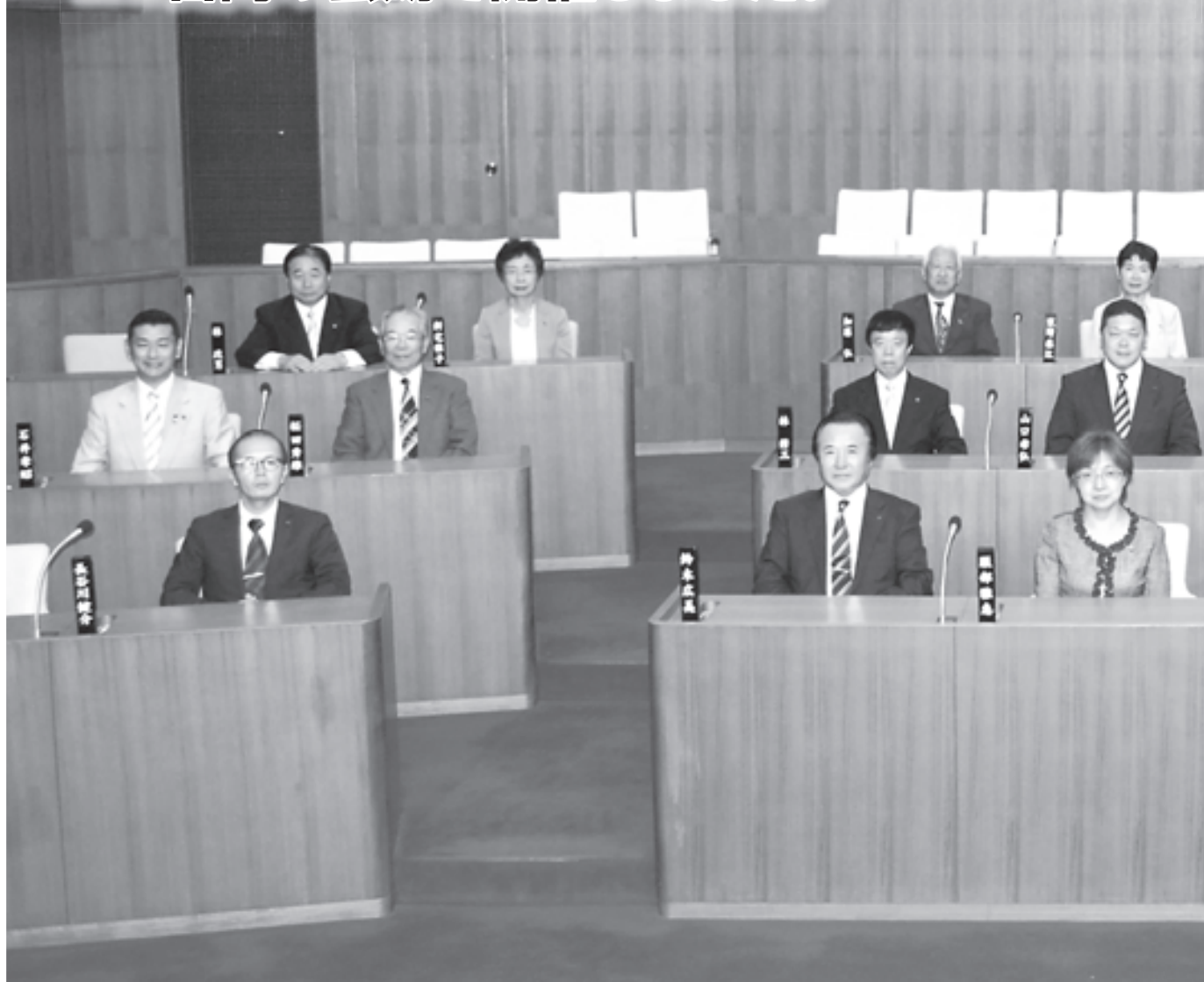
・5割軽減判定

被保険者数につき、現行24万5千円↓改正26万円

・2割軽減判定

被保険者数につき、現行45万円↓改正47万円

6月定例会を5月29日から6月23日までの 26日間の会期で開催しました。



◆落花生の郷やちまた応援寄附金の一部改正

○寄附を申し込む際に、寄附金の使途を総合計画に示す
八つのまちづくりメニューに幅広く対応出来るように改正。

◆重度心身障害者の医療費助成の二部改正

○平成28年8月から、医療費の助成方法が、後日市から助成を受けていたものが、医療機関の窓口で受給券を提示し、その場で精算出来るように改正。(65歳以上で新たに重度障害者となった方は、対象外)

・自己負担額：入院1日、通院1日につき300円

(市町村民税所得割非課税世帯は、免除)

予算

◆平成27年度一般会計補正予算

○子育て世帯臨時特例給付金給付事業

2千889万2千円増額

○臨時福祉給付金給付事業

8千997万円増額

○発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援として、学校段階移行期における円滑な引継ぎ手法・時期等に関する調査研究事業。

381万7千円増額

○市行政への発展と市民福祉の増進を促進するため、コミュニティ活動へ助成。

250万円増額

○新地方会計に対応する公共施設等総合管理計画の策定及び固定資産台帳の整備。

857万6千円増額

○社会保障・税番号制度へ対応するためシステムの改修等

4千93万9千円増額

○社会保障・税番号制度の導入に係る事務負担金及び臨時職員の賃金。

3千8万2千円増額

○榎戸駅自由通路整備及び駅舎橋上化工事委託業務

3億4千300万円増額

請願

◆市道三区35号線(八街五差路から三区十字路交差点)の歩道整備を求める。

・市道三区35号線に歩道を整備すること。

・五差路交差点との接道部で安心して信号待ちが出来るよう待機スペースを確保すること。

新副議長を紹介します



鯨井 眞佐子 副議長

平成11年初当選

現在4期目 公明党

平成27年6月19日に、山口孝弘副議長の辞職により、副議長選挙が行われました。

新副議長に鯨井眞佐子議員が当選しました。

議案質疑

6月9日、23日に本定例会に提案された、議案について質疑を行いました。(紙面の都合上、質疑の一部を掲載します。)

◆市税条例等の一部改正

問 個人市民税の住宅ローン控除が2年間延長されるが、市税の財源不足はどのような措置がされるのか。

答 この控除は、本来所得税から控除するものですが、所得税から控除し切れない場合は、不足分を住民税から控除します。しかし、この措置による個人住民税の減収分については、全額国費で補填されます。

問 軽自動車等の自動車税の増税は、1年先送りし、平成28年度からになったが、八街市には沢山の軽自動車が登録されています。13年を経過し重課税率になると倍近くになることをどのように

に考えているのか。

答 農家さんの車は、走行距離があまり伸びていないケースはかなりありますが、国の地方税法の改正ですので、市の裁量ではなかなか出来るものではありませんが、個人的には、配慮して頂きたいと思っています。

◆重度心身障害者の医療費助成

問 医療機関の窓口で受給券を提示することにより、その場で精算出来ることになりましたが、なぜ障害者の皆さんに自己負担を求めるのか。

答 制度対象外の方の公平性の観点から、高齢者医療費助成制度と同様に一定の負担を求めることになりました。住民税非課税世帯に対しては、これまでどおり自己負担を求めない配慮の中で、住民税所得割課税世帯に対して一定の負担を求めるのはやむを得ないと考えています。

◆発達障害早期継続支援

問 発達障害早期継続支援事業の内容を伺う。

答 1点目は、引継ぎを意識した個別の教育支

援計画等の作成方法の研究。

2点目は、進学前後における引継ぎ内容及び時期の研究。3点目は、児童生徒本人及び保護者の同意を得つつ、引継ぎを実施する仕組みの構築になります。専門的指導員として、小学校、中学校間の連携役として1名、中学校、高等学校間の連携役として1名を予定しています。

◆マイナンバー制度

問 マイナンバー制度に関する費用の内訳を伺う。

答 昨年からシステム改修等を進めています。平成26年度から27年度の2カ年で総額7千571万円を見込んでいますが、一般財源にあたるのは、1千466万1千円になります。

◆榎戸駅整備事業

問 駅舎橋上化及び自由通路の建設にあたってJRとの交渉は、どのように行われてきたのか。

答 市としては、平成13年から地元区と榎戸周辺地区の方々とお話をしており、その中で東口を作るだけの案、自由通路を作るだけの案を含めてJRと協議してきました。JRの基本方針

として、人件費や維持管理費の面から駅に改札口とのことで、東口の改札口は認めないとのことでした。また、東口に用地がありませんでしたので、結果的に設置できないと判断しました。

問 事業経費の負担割合を伺う。

答 八街市が15億9千900万円、JRが7千200万円です。

問 工事期間の3年は、長いと思うが。

答 この事業の協定の締結は、9月、10月になり、実際の工事に入るのが年明けになるかと思っています。

JRの内容ですと平成31年3月末までの工期としています。工事費については、少しでも削減するため、工事を夜間だけでなく、昼間に出来るところは、実施出来るように検討しています。

◆東口の開設

問 東口の開設だけではなく、周辺の土地利用も同時に考えていく必要があるのではない

か。

答 八街市基本構想の中で、榎戸駅周辺の機能の充実を図りながら住宅街地、都市機能をあわせ備えた都市副次核としての土地利用を進めようという考えです。八街市の活性化を目指すためにも、いろいろな関係機関と連携をとりながら進めます。



▶全議員による榎戸駅視察

意見書を国などに提出しました。

国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

現在、多くの国民健康保険加入者の国民健康保険税（料）負担が限界に近づいています。

この最大の原因は、国保財政に占める国庫負担金の割合が引き下げられてきたことにあると思います。また、今後増高する医療費に対して、国保加入者に過度な負担を負わせることなく将来にわたり、国民健康保険の持続可能性を担保する必要があります。国民健康保険は、構造的に財政基盤が非常に脆弱です。多くの市町村はその運営にあたり、毎年一般会計からの多額の繰り入れにより赤字補填を行っています。一般会計の状況も厳しく結果として累積赤字を抱えています。

よって、本市議会は国に対し、国民健康保険の基盤強化を実現するため、具体的な保険者支援制度の拡充や、さらなる追加公費投入等、財政基盤の強化を図るとともに、累積赤字解消に資する財政支援措置を講ずることを強く求めます。

国における平成28年度 教育予算拡充に関する意見書

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、必要な教育予算を確保することを強く要望します。（一部抜粋）

・集团的自衛権の行使を具体化する法案は廃案にすることを求める意見書（否決）

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかにかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものです。

国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求めます。（一部抜粋）

委員会での審査

6月11日、12日、15日に各常任委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。（紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。）

総務

◆落花生の郷やちまた応援

寄附金によるまちづくり条例の一部を改正する条例の制定

問 内容をみて寄附しようとするには、大変わかりづらいので、広報の方法を検討する必要があると思うが、どのように考えているのか。

答 総務省からポスターが配付されましたので、各施設に掲示しています。また、インターネットサイトの「ふるさとチョイス」には、施策によって寄附をする内容が掲載されているところもあるので、今後、随時わかりやすい改正をしていきます。

問 お礼の品の落花生の調達先について伺う。

答 「八街市優良特産落花生業者会」と「ぼっち」との契約で行われています。

◆一般会計補正予算

問 マイナンバー制度の事務は、国からの受託事務ですが、事務費の負担について伺う。

答 国からの法定受託事務に関するシステム改修は、10分の10補助です。自治事務に関わるものは、財源措置として3分の2を国からの補助、残りの3分の1は交付税措置されると聞いています。

問 マイナンバー制度の市民への周知は遅れていますが、危険度の高さなどの周知は、どのように対応していくのか。

答 市としては、ポスター等を公共施設、自由通路に掲示したり、チラシを作成して、出来るだけ多くの手段を用いたいと考えています。また、高齢者、障害者世帯については、担当課と今後協議して、対応していきます。

問 発達障害早期継続支援事業は、2年で終わらせないで、今後どのように展開させていくのか。

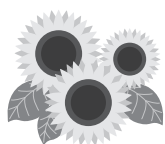
答 本市は幼小中高連携教育に取り組んでいます。2年間ですが、終了した後も継続支援がずっとあたりまえのように続けていけるよう、研究を進めたいと考えています。

問 地区コミュニティ助成事業は、あと何件申請があがっているのか。

答 希望されている区は9区あります。だいたい1年に1件採択を受けて助成しています。

問 固定資産台帳・公共施設等総合管理計画作成業務の目的と、財源について伺う。

答 新地方公会計制度導入前に、各担当課で管理している固定資産の台帳等を一元化して、公共施設等の全体を把握し、長期的視点に立って、公共施設等の総合的、また、計画的な管理を行うために必要と考えています。財源は、平成29年度まで特別交付税が、2分の1措置されます。



市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。
6月定例会の一般質問は、3日(水)、4日(木)、5日(金)の3日間に13名の議員が質問しました。
(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)



若者にもお年寄りにも魅力ある街づくり

改革クラブ 古場 正春



街づくり

問 八街市の未来展望を伺う。

市長

総合戦略を策定していく上での基本目標は、①地方における安定した雇用を創出する。②地方への新しい人の流れを作る。③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる。④時代に合った地域を作り、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。と方向付けしています。10年後の将来展望を見据えながら、5年間の地方版総合戦略を策定する予定であり、その中で産業振興、雇用の確保などを含めた人口減少対策、移住・定住施策、少子化対策などに関する内容を取りまとめ、将来展望を支えていく施策として活かします。

若者、お年寄りに魅力ある街づくり

問 若い世代が住みたくなる魅力的な街づくりとお年寄りが自分たちの住

む町で活動できる街づくりについて伺う。

市長

平成27年度から5カ年の次期基本計画及び地方版総合戦略の策定作業を進めています。特に、若い世代が住み続けたいような魅力的な街づくりは、地方版総合戦略で施策などの検討を行いたいと考えています。消費喚起・生活支援型交付金事業では、プレミアム付き商品券事業の実施。地方創生先行型交付金事業では、八街市総合戦略策定事業、移住・定住促進事業、観光農業等振興事業、子育て支援及び少子化対策事業を実施します。

総務部長

問 八街市人口減少問題対策での協議内容を伺う。

日本創生会議、人口減少問題検討部会があり、そこで地方から大都市への人口流出が現在のペースで続いた場合、30年間で20代から30代の女性は半分以上に減るといような発表がありました。

その中で、八街市も2040年には人口が5万人を割り込み、20代から30代の女性が61パーセント減少する報告もあります。市としては、人口減少問題を最重要課題と位置付け、八街市人口減少問題対策検討会議の中でいろいろと議論してきました。この内容は、近々議員の皆様にも説明させていただく機会を設けさせていただきたいと考えていますが、大まかなものを報告しますと、どのような取り組みが必要かということと3点ありました。婚活世代から子育て世代までの切れ目のない支援が必要ということ。特に若い世代の市民が住み続けたいと感じるような魅力ある街づくりの推進が必要。また、市の魅力を広く市外に向けてPRしていく広報活動、それとシティーセールス、プロモーション活動の推進が必要とのことでした。

中学生による震災学習の継続を求む

改革クラブ 桜田 秀雄



中学生の震災学習

実施されましたが、本実施される考えはないか。

問

阪神大震災の時、観光バスを貸し切り、多くの子供たちを神戸に連れて行きボランティア体験をさせる中で、子供たちが大きく変わる姿を見て感動しました。この体験からボランティア体験学習の実施を提案、すでに八街中、北中、南中が実施しています。参加した生徒たちの作文や体験発表を見ていると、大きな教育的成果が見えます。残された中央中学校についても実施されることを求めるが如何か。

教育長

4月に7日間、児童の声で実施しました。2学期の始まりにも予定しています。今後、さまざまな検討を加えながら、実施する期間を増やし、子どもの安全確保に努めます。

土地利用計画

問

八街駅北側核施設用地の利用計画について、具体的に何をつくるかは決まっています。文化会館は、中央公民館を建て替える際、郷土資料館や文化ホールなどを備えた総合施設にする予定です。駅前に文化会館をつくることに危惧する声があるが、市長はどのように認識されているのか。

教育長

今年度は八街中央中学校が実施し、最後になります。すでに実施した八街中、南中では関係者の協力のもと、継続して実施されています。

子どもの見守り放送

問

平成24年6月議会以降、何回か防災無線による子供たちの下校見守り放送の実施を求めています。本年4月から試験的な放送が

道路問題

問

市道東吉田15号線に待避帯の設置を求めるが如何か。

建設部長

東吉田15号線は、延長657メートル、幅員は3.5から5.5メートルの間ですが、設置する場合、何力所が必要となり、地元のご協力等が必要になります。今後の検討課題とします。

問

朝陽小学校協の信号機変更の進捗状況について伺う。

建設部長

現在、押しボタン式から通常の信号機に変更する方向で進められており、地権者の理解が得られた後、用地測量を実施し、買収、分筆作業になります。

市長

今年度スタートする基本計画の中で、当初計画の見直しを含め、将来を見据えた上で方向性を定め、しっかり計画、議論します。

※その他の質問

◆榎戸駅改良問題

◆空き家の実態調査

◆プレミアム付き商品券

◆選挙制度など

市民の声・市民の手と共にまちづくりを！

誠和会 小高 良則



公共下水・排水問題

問

竹中団地では自主管理の集中浄化槽が老朽化しており、利用している方々は不安を抱えています。公共下水道への切り替えも考え、管理組合が毎年、市に対して要望していると思いますが、どのように考えているのか。

市長

竹中団地の集中浄化槽は、当該自治会管理組合より、施設老朽化に伴う公共下水道への接続要望がされていますが、同団地は都市計画で決定された用途地域の外側に位置しています。現在、本市では特別会計として経理している下水道事業は、平成32年度から地方公営企業における法適用になることにより、用途地域外への下水道整備については、公営企業としての経営上、厳しい状況にあります。が、竹中団地管理組合からの公共下水道への接続要望については、今後、慎重に検討します。

私たちの街の防犯対策

問

犯罪の防止のために、市民活動も大変重要な位置にあると思います。協働の防犯活動の向上はどのように促しているのか。

市長

安全・安心の街づくりを考える際に各地域におけるボランティアの貢献度が非常に大きいと考えています。警察と連携して、区長会議や、犯罪発生率の高い地区の会合での防犯講話等により、地域における防犯意識の向上を図るとともに、自主防犯組織の結成をお願いしているところであります。また、広報誌で防犯ボランティアの方々の活動内容を紹介するとともに、関心をお持ちの方への呼びかけも行っています。今後も、新たな自主防犯組織の結成促進を図るとともに、犯罪減少に向け、警察をはじめ、市民の方々と、さまざまな関係団体との協力体制を強化し、防犯活動に努めます。

問

防犯活動の強化促進、啓発活動の具体的内容を伺う。

総務部長

現在、警察等いろいろな関係者の方々の協力により、防犯対策をとっています。地元の皆様、自主防災組織、防犯パトロール隊を現在に立ち上げていただいています。職員が出向いて説明する際にも、パトロール隊の結成等についてお願いしているところですが、やはりどのような取り組んだらいいのかかわからないこともあると思います。地域によって取り組み方が若干異なってくると思いますが、核となる部分はある一定の線と同じだと思っております。その辺は私どもの方でも整理し、関心をお持ちの方が結成しやすいような環境を構築したいと思っています。

※その他の質問

◆財政問題

◆八街市のPR活動

多くの人が集まる

賑わいのあるまちづくり

誠和会 林 修 三



活力あるまちづくり

問 活力あるまちづくりに向け、外からお客さまを呼び込むための具体策について伺う。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

副市長

プロモーションビデオの作成は、

若手職員の意見を取り入れて、どういう形でPRしていくのか。また、どういう素材をもってくるのかなどを請負業者と一緒になって、検討しながら進めたいと考えています。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

市長 市民に定着している「ふれあい夏まつり」、毎年11月下旬に開催している「産業まつり」、11月初旬の「やちまた大祭」の3つのお祭りが本市における大きなイベントといえるものですが、市外から人を呼び込むことも大変重要と認識しており、現在の市のホームページだけでなく、SNSの活用など他の媒体、情報発信の手段についても検討してまいります。

の方達との意見交換をする場や機会を設け、若い世代や高齢者など、さまざまな世代の人たちみんなが街づくりを進めていきたいと考えています。

子どもたちの教育振興 幼小中高連携6項目中のあいさつ運動の展開について伺う。八街市の総運動として展開されれば非常に好ましいと考えます。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

市長 合戦略の中には、人口減少対策や移住・定住の促進雇用の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるような施策を盛り込んでいきます。また、会社などをリタイアされた高齢者の方達には、地域などにおいて、これまでの知識や技能を有効に活用いただけるよう、その仕組み作りが重要であると認識しており、生きがいを持って活躍できる場や、機会の創設が必要であると考えています。

八街版地方創生と、高いレベルを目指す

スポーツ人・文化人の支援策は？

誠和会 石井 孝 昭



八街版地方創生

問 八街版地方創生総合戦略の具体性は。

市長 「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、有識者会議の意見を伺い、5カ年の戦略に盛り込むべき施策など検討します。

問 八街市は、10年後の将来人口を6万8千人と想定して、今後のプランに反映していくとしました。人口減少に歯止めをかける決意と、魅力ある街づくりを推進するための総合戦略の具体性は。

総務部長 ご意見を拝聴し、いつまでも健全な市であるために、人口減少に歯止めをかけるよう、努力します。

問 子ども支援イコール母親支援です。切れ目のない子育て支援策の充実について。

市長 0歳から就学前のお子さんとその家族、妊娠中の方を対象とする親子サロンを、本年8月中旬からの開設に向けて準備を進めています。

問 子育てには安定した雇用が必要では。

市民部長 雇用促進のためにも、子育ての環境整備は非常に大事です。親子サロンの設置や講演会等を通じて子育て環境整備に努め雇用促進を図ります。

問 農業資源を活かした、観光農業等の振興策は。

市長 観光客を呼び込むため、農業体験施設や、落花生小売店を紹介するパンフレット等を作成し、落花生及び新鮮野菜の掘り取り体験を都市部の方々に体験していただき、八街産落花生や新鮮野菜のPRを図る目的で、農業体験ツアーを実施します。

地域活性化

問 JR総武本線を活用した地域活性化における人口流入策は。

市長 JR複線化等促進期成同盟を通じて、

問 高いレベルでの活躍、また目指そうとしているスポーツ人、文化人に対する支援策は。

市長 活躍している方々の活動の把握に努め、公平な支援策について、研究します。

問 頑張る子どもたちが八街市から、スポーツ界、文化界で、日本へ、世界へ大きく羽ばたいていけるように、今現在の基準を大幅に見直して、一体的に支援していく制度設計を、構築していくべきでは。

教育次長 今後の課題とさせていた

市長 今後の課題とさせていた

市長 今後の課題とさせていた

市長 今後の課題とさせていた

市長 今後の課題とさせていた

安心・安全なまちづくりのために

誠和会 木村 利晴



教育問題

問 学校教育の機会は今

ての子どもたちに平等に保障されている一方、学校教育の機会が、家庭の経済状況に大きく左右され、家庭の経済格差が学力格差を生んでいます。八街市での児童生徒の教育格差の現状と、その対策・支援策について伺う。

教育長

「要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱」を制定。27年度には、約7パーセントの児童生徒に対して就学援助を行い、教育格差が出ないよう努めています。

市民部長

自立相談支援事業として、就労支援、ほか自立に関して生活困窮者からの相談、情報提供、助言を行う。住宅確保給付金として、離職により住宅を失った生活困窮者等に家賃相当額を支給し、職と住居の同時喪失を防止する事業です。

教育次長

学力向上には、授業に対して興味、関心を高める工夫、学習規律の徹底、基礎的な内容の繰り返し、家庭学習の充実が必要。保護者や地域との関係を大切に、教職員研修を積み重ねます。

問

ネットいじめ被害、危険サイト関係事件の現状について伺う。

教育長

SNSなどの情報は、保護者や教師から見えにくく、仲間はずれや悪口などのいじめ問題が発生してから、学校に相談が来るのが少なくなく、学校では当事者から時間をかけ苦情を確認、丁寧に対応しています。

まちの安心安全

問

八街市内の自主防犯パトロール隊の現状と啓発について伺う。

市長

さくら防犯パトロールネットワーク加盟団体として、15団体が活動、今年1団体が新加盟、現在16団体が活動を行っている。

ます。各地域の会合に警察官の派遣、防犯講話を行い、呼びかけます。

問

自主防災に対する住民の意識高揚について伺う。

市長

平成25年度から八街市総合防災訓練を実施。昨年度から区長会議や地域会議に担当職員を出席させ重要性を説明。

教育長

昨年4月から新たに7団体結成され、現在自主防災組織は11団体となりました。

道路、排水問題

問

慢性的冠水道路の点検清掃について伺う。

市長

浸透貯水槽を市内19カ所設置しています。梅雨入り前に現地確認、冠水対策に努めます。

問

新規埋立地の雨水対策について伺う。

市長

容量計算書等を提出させ、指導しています。

※その他の質問
◆土砂流出対策

文化ホール・農地中間管理事業・水道事業を問う

誠和会 小山 栄治



中央公民館に文化ホールを

問 中央公民館の建て替え、または改修で郷土資料館、文化ホール等を備えた複合施設を望むが如何か伺う。

中央公民館は、文化、芸術活動を振興する上で、設備の整った施設が必要であることは認識しています。既存の施設を改修し、郷土資料館や文化ホール等を備えた複合施設にすることも一つの方法と考え、財政状況を鑑みながら、今後、市総合計画の中で検討していきます。

教育長

中央公民館は、文化、芸術活動を振興する上で、設備の整った施設が必要であることは認識しています。既存の施設を改修し、郷土資料館や文化ホール等を備えた複合施設にすることも一つの方法と

心して貸し出せるよう、事業の周知に努めます。

問

公募は年2回だが、申し込みはいつでも出来るようにならないか伺う。

経済建設部長

機構の手続きは年2回ですが、受付については常時農政課の担当窓口で受付しています。

漏水対策を

問

配水管と給水管を含めた漏れは多く発生しており、有収率も低迷し続けているが、今後の漏水対策を伺う。

市長

今年度、無効水量対策の一環として、漏水調査業務を実施し、調査結果の分析・検討を踏まえ、さらなる有収率の向上を目指す。翌年以降の漏水調査計画を作成し、より一層の健全経営に努めていきます。

問

調査結果によつては、漏水箇所を徹底的に直すことも必要と思うが、如何か伺う。

水道課長

この調査結果を踏まえて、漏水箇所を処理する必要があると判断できれば、更新を毎年約1キロメートルという形で計画を立てているが、この計画の中に反映をしたいと思いますと考えています。

問

平成31年度に予定されているハツ場ダムの完成の時、本市の水道事業経営の影響を伺う。

市長

ハツ場ダムの完成に伴い、配分受水量に係る経費、廃止井戸について現在検討されているが、関係機関と連携を図り、協議・検討をしていきます。



漏水調査

誰もが安心して暮らせる街づくりを

目指して

公明党 服部 雅恵



健康問題

問 本市の特定健診のここ数年の受診率を伺う。

市長 平成24年度が、24・39パーセント、平成25年度が24・54パーセント、平成26年度が27・48パーセントとなっており、若干向上していますが依然として低い状態です。

問 健康寿命の延伸の為に、データヘルス計画の早期実現を求めるが如何か。

市長 市では現在、計画策定に向け、国民健康保険被保険者の疾病データをまとめた健康課題の抽出を行っています。なるべく早い時期の計画策定を目指していきたいと考えています。

公共交通

問 公共交通協議会の審議内容を伺う。

市長 平成25年度に実施したデマンド交通の試験運行をもって、早期の

デマンド交通導入との結論に至っていません。平成26年3月に策定した「八街市地域公共交通総合連携計画」には、ふれあいバスの再編、また新たな交通システムの導入の検討とあわせ、地域主体の公共交通再編の仕組みについても掲載し、市民協働型の公共交通の取り組みについても検討が必要としています。

市長 高齢化が進む本市として、デマンド交通の必要性を痛感しているが、お考えを伺う。

市長 今年度「八街市地域公共交通協議会」では、国の「地域公共交通調査事業補助金」の採択を受けて、「地域公共交通網形成計画」を策定する予定であり、ふれあいバスの再編、またデマンド交通を含む新たな交通システムの導入についても検討していきたいと考えています。

市長 プレミアム付き商品券の販売について、八街商工会議所が発行主体となり、一冊あたり1千円券10枚と500円券6枚がセットとなった合計1万3千円分の商品券を1万円で販売するもので、発行冊数は4万冊を予定しています。販売期間は、8月10日から12月25日までで、1人あたり1冊の販売としますが、本市の独自の方策として子育て家庭を支援するため、千葉県で発行している「チーパス」を持参の方は2冊購入できます。購入対象者は、市内在住者で、商品券の販売所は、各郵便局、千葉みらい農業協同組合八街支店、八街市推奨の店「ぼっち」、八街商工会議所での販売を実施する予定です。

市長 地方創生 ※その他の質問 ◆自転車の安全運転

地方創生や電気料金の見直し、住野十字路と

朝陽小学校脇の信号機等について

公明党 川上 雄次



地方創生先行事業について

問 地方創生先行型交付金の活用内容と進捗状況について、お伺いします。

市長 「地方創生先行型交付金事業」は、本市に6千624万1千円が交付され、「八街市総合戦略策定事業」「移住・定住促進事業」「観光農業等振興事業」「子育て支援及び少子化対策事業」として採択されました。市PR用ビデオ及びパンフレットの作成、空き家実態調査、空き家リフォームの助成と、観光客誘致のためのパンフレットの作成等や、農業体験ツアーの実施及び観光農業のトイレ等の整備、子育てガイドブックの作成、子育て講演会の開催、親子サロンの開設、運営、婚活イベントの開催について現在、準備を進めています。

市長 新電力(PPS)の導入については、電気の使用料金の削減において、最も重要であると考えており、今年度中の導入に向けて準備を進めているところであります。

問 朝陽小学校脇の信号機の改良について進捗状況は如何か。

市長 朝陽小学校脇の交差点改良ですが、現在の押しボタン式信号機から、通常の信号機に変更する方向で進めております。現在の進捗状況につきましては、地権者との交渉を始めたところであります。今後は、地権者の理解が得られた後、用地測量を実施し、用地の買収を行い、その後、分筆作業に入っていく予定でございます。

問 LED防犯灯について、全面導入が何時できるのか。

総務部長 極力LED化するよう、財政状況等も勘案しながら進めてまいりたいと考えております。

交通対策について

問 国道409号の住野十字路付近の渋滞解消策について伺う。

市長 住野十字路の交差点は、既に、関係する地権者への意向調査を行い、その結果を県印旛土木事務所へ提出しております。しかし、地権者の中には不在であったり接触が困難な地権者もおりますので、今後も印旛土木事務所と協力しながら、実現に向けて努力してまいりたいと考えております。

建設部長

7名の方が対象になります。

電気料金の見直しについて

問 早期に新電力のPPSの導入で電気料金の削減を実現すべきだが如何か。

7名の方が対象になります。



子供たちの安心安全と地域活性化

やちまた21 林 政男



通学道路等の整備

問 二州小学校から国道126号までの通学路整備は、一部歩道の舗装がされていますが、整備状況を伺う。

市長 今年度は歩道整備を200メートル行う予定で、用地協力が得られた箇所から整備を進めていくとのこと。

問 国道126号の横断歩道設置は、国道事務所まで話は届いていると思うが状況を伺う。

市長 横断歩道の設置などの交通規制は、県公安委員会が設置効果、緊急性、住民の要望等を考慮し、より必要性の高いものから設置を行っています。沖入り口交差点の右折レーン整備計画との整合性を図りながら検討します。

市長 沖十文字から山田台までの自転車通学路の整備促進について伺う。

ろ、計画がなく他路線の歩道整備を鋭意努力しているとのことでした。しかし、引き続き要望したいと考えています。

問 県道岩富・山田台線と市道21024号線・市道21036号線の交差点に信号機設置については、どのような状況か伺う。

市長 当該交差点の場合、歩行者が安全に横断待ちをするための滞留場所、信号機取り付け用地の確保等が必要となってくるため、現状では設置が難しく、そのためには交差点改良が必要な場合もありますので、現状での設置が可能であるか、千葉県公安委員会と協議します。

問 市道116号線と市道31012号線、市道19013号線の交差点の信号機設置は、どのような状況か伺う。

市長 現状での設置が可能であるかどうか



含めて、県公安委員会と協議し、交差点改良等が必要となる場合には、今後も研究・検討をしたいと考えています。

◆その他の質問

・地域活性化
・パークアンドライド
・山田ICに成田・木更津方面の出入り口を
・圏央道東金・山武成東間
にスマートインターを

活力あるまちづくりを

日本共産党 京増 藤江



農業の活性化

問 市の基本構想は、人口の減少抑制を図るために、次世代を担う若年、子育て世代が住みやすい環境、子どもを育てやすい環境の整備や産業振興などによる雇用の確保を進め、市民が生涯にわたって安全に安心して暮らすことができる街づくりを推進するとしています。地域経済を活性化させ雇用を確保するためには、八街市の基幹産業である農業の活性化、発展が不可欠です。後継者対策をどのように強化するのか伺う。

市長 国が行う農業を始めてから最長で5年間、年間上限150万円を給付する青年就農給付金事業を平成25年度から実施し、10名及び夫婦1組の12名の就農者に給付しています。平成27年度からの新たな給付対象者として1名及び夫婦1組の3名を予定しています。また、青年就農給付金の対象にならない親元での新規

就農者に対して平成26年度から市の単独事業として月額2万円を2年間給付する農業後継者育成支援金を6名に給付しており、新たに3名に給付を予定しています。

問 市単独の後継者育成支援金は2年間の予定ですが、今後も継続し増やすべきと思うが如何か。

経済環境部長 2年で終了せず、できる限り続けたいと考えています。

奨学金制度の創設

問 子ども6人に1人が、貧しい家庭で育っているといわれています。お金の心配なく学べるように、市独自の返還の必要がない奨学金制度の創設を求めるが如何か。

市長 増設は急務ですが、現在のところ困難です。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、介護サービスの充実を図るため、介護報酬の改定を行うよう千葉県市長会を通じて国に要望します。

教育長 社会福祉協議会では、県の事業として高等学校、大学、専門学校等への就学及び入学に際し必要な経費の貸し出しを就学者本人に行っており、引き続き、認定や援助内



市民とすすめるごみ行政について

日本共産党 丸山 わき子



ごみの減量化、資源化の推進について

問 クリーンセンターの稼働率は44パーセントにとどまっており、いかに大きく過ぎるクリーンセンターだったか、改めて指摘せざるを得ません。維持管理費は、年間約10億円。ごみの減量・資源化によって経費削減への取り組みを求める。この間の取り組み状況は如何か。

市長 生ごみの減量を図ることは、クリーンセンターの焼却コスト削減に大きく関わるものであり、生ごみ処理機補助金制度の再導入の検討をしています。

ごみ袋の有料化について

問 3月議会の一般質問にたいし、有料化の導入を検討したいということであるが、負担増ありきの導入はすべきではない。如何か。

市長 今後、多くの市民の皆様のご意見や有識者等の方々からのご意見を十分にお聞きした上で、検討していかなければならないと考えています。

市長 は、減少しています。が、可燃ごみの量は、年々増加傾向にあります。資源化率は、平成26年度が22・2パーセントとなっています。

市長 今後の、多くの市民の皆様のご意見や有識者等の方々からのご意見を十分にお聞きした上で、検討していかなければならないと考えています。

市長 今後の、多くの市民の皆様のご意見や有識者等の方々からのご意見を十分にお聞きした上で、検討していかなければならないと考えています。

生ごみ処理機の普及と購入補助について

問 今までのごみ処理計画の中では生ごみ処理機の普及、補助制度を必要としながら、途中から打ち切ってしまったが、元に戻して市民の皆さんに生ごみを減らすという協力をしていただくことが必要と思うが如何か。

市長 大きなクリーンセンターをつくってしまい、その維持管理費が大変だから、有料化するなどとはとてもない。クリーンセンター建設のツケを市民負担にさせることは絶対あつてはならない。ごみをいかに減量化させ、燃やさないようにするかということが、今のクリーン

センターには求められている。そのためには、市民の皆さんに八街市が今抱えている問題を率直に投げかけて、一緒にごみ減量化に取り組むべきであるが如何か。

経済環境部長 さらに市民全体に呼びかけまして、ご協力の方をお願いしていきたいと思っております。

小学校のエアコン設置について

問 この間、市長は、財政状況をしながら順次整備を検討すると答弁をされていますが、具体的には如何か。

市長 設置方法や財源の確保を十分検討し、平成28年度設計、29年度から工事を順次計画的に実施する予定です。

市長 設置方法や財源の確保を十分検討し、平成28年度設計、29年度から工事を順次計画的に実施する予定です。

市長 設置方法や財源の確保を十分検討し、平成28年度設計、29年度から工事を順次計画的に実施する予定です。



平和・安心のまちづくりを

日本共産党 右山 正美



平和行政について

問 八街市は1984年9月、平和都市宣言を全会一致で決議をしています。今年、戦後70年の節目の年、平和都市宣言の街としての取り組みを強めていくべきと考えるが市長の見解を伺う。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

市長 核兵器のない平和な世界の実現を目的として、世界各国の都市で構成している平和市長会議に本市も加盟しています。今後も、本市の決議である非核平和都市宣言を踏まえながら、平和と発展に貢献したいと考えています。

戦争法案について

問 戦後日本の、国のあり方を根本から転換する戦争法案は、国会での論戦が

深まれば深まるほど、矛盾が出てきています。法案は憲法9条を破壊する3つの大きな問題点があります。一つはこれまで禁じられてきた戦闘地域での軍事支援が可能になり、殺し、殺される戦闘を行う道を開くことになり、二つ目にはPKOとは関係ない活動にも自衛隊が派兵され、戦闘を行う危険があること。三つ目には日本が攻撃をされていないのに集団的自衛権を発動してアメリカとともに海外で戦争に乗り出すというもので、許しがたい問題です。市長の見解を伺う。

国民健康保険制度・限度額認定について

問 市は滞納世帯に限度額認定証の交付をしています。市民から医療を遠ざける施策といっても過言ではありません。必要なのは、等しく交付すべきであるが如何か。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

市長 現在、滞納世帯へは限度額適用認定証を発行していませんので、医療費が限度額を超えた分については、高額療養費として支給しています。しかし、一時的に高額な医療費を支払う必要があり、被保険者の負担も大きいことから、保険税の未納がある場合でも、分納誓約を確実に履行している世帯に交付するなど、その交付にあたっての取り扱いについて検討しているところでございます。

横浜市会議長来庁



八街市議会
湯浅祐徳 議長

横浜市区
梶村充 議長

八街市出身の横浜市区議長の梶村充様
が、7月3日に八街市議会を表敬訪問され
ました。これを切っ掛けに、横浜市区との
交流が深まることが期待されます。



全国市議会議長会 定例表彰の報告



加藤弘議員は、市議会議員として市
政の振興と地方自治の進展に尽くされ
た功績により第91回全国市議会定期
総会において本会表彰により表彰され
ました。



加 藤 弘 議員
平成11年初当選 現在4期目

議会日誌

[5月]

- 1日 ・八街市廃プラスチック対策協議会総会
- 8日 ・八街市シニアクラブ連合会定期総会
・八街市小中学校PTA連絡協議会定期総会
- 10日 ・自由民主党八街市支部総会
- 11日 ・八街市戦没者追悼式
- 12日～14日 ・会派行政視察(公明党) <長野県>
- 14日 ・八街市自衛隊協会総会
- 15日 ・消防委員会・八街市消防団歓迎会
- 16日 ・八街市管工事協同組合総会
- 17日 ・八街市民音楽祭
- 19日 ・八街市民ゴルフ大会表彰式及びパーティー
<東金市>
- 20日 ・千葉県市町村職員年金者連盟八街支部定期総会
・八街市教育委員会・校長会・教頭会合同情報交換会
・印旛支部消防操法大会出場隊激励会
- 21日 ・議会運営委員会
・八街工業会通常総会懇親会
- 22日 ・八街市赤十字奉仕団総会
- 23日 ・八街市民カレッジ開講式
・水防演習 <成田市>
- 24日～26日 ・会派行政視察(公明党) <北海道>
- 25日 ・商工会議所通常議員総会
- 26日 ・北総中央用水土地改良事業推進協議会総会
・印旛沼水質保全協議会通常総会 <四街道市>
- 27日 ・関東市議会議長会定期総会 <水戸市>
- 29日 ・文教福祉常任委員会協議会
・全員協議会
・本会議(6月定例会開会)
・全員協議会
・議員親睦会役員会
・八街駅南口商店街振興組合通常総会
・社会を明るくする運動協力団体説明会
- 30日 ・隊友会八街支部総会

[6月]

- 1日 ・産業まつり実行委員会
- 2日 ・大田市場ヘイスイPR(経済建設委員会)<東京都>
- 3日 ・本会議・一般質問
・議会改革検討協議会
- 4日 ・本会議・一般質問
- 5日 ・本会議・一般質問
- 6日 ・齋藤勝美前社会福祉協議会会長送別会
・元消防組合議員通夜
- 7日 ・八街市近隣中学校交流野球大会
- 9日 ・議会運営委員会 ・本会議・議案質疑
・全員協議会 ・議員親睦会総会
- 11日 ・総務常任委員会
- 12日 ・文教福祉常任委員会
- 13日 ・結婚50周年記念祝賀会
・印旛会
- 15日 ・経済建設常任委員会
- 17日 ・全国市議会議長会定期総会 <東京都>
・八街市遺族会総会
- 18日 ・議会運営委員会
・成田空港の現状等に関する講演会
- 19日 ・本会議・委員報告、質疑、討論、採決・追加議案上程
・全員協議会
- 20日 ・八街市PTA連絡協議会バレーボール大会
・八街市シルバー人材センター定時総会
- 21日 ・千葉土建一般労働組合八街支部第20回定期大会
- 23日 ・議会運営委員会(6月定例会閉会)
・本会議・質疑、討論、採決
・議会だより編集委員会
- 24日 ・青い麦の子「友だちつくろうの会」
・美しい作田川を守る会定期総会 <山武市>
- 26日 ・市政懇和会
- 27日 ・共同募金杯チャリティボウリング大会
- 28日 ・千葉県消防協会印旛支部消防操法大会 <印西市>

[7月]

- 1日 ・印旛土木と情報交換会
- 3日 ・作田川改修期成同盟会通常総会 <九十九里町>
- 4日 ・印旛郡市民体育大会 <栄町>
- 8日 ・印旛衛生施設管理組合議会臨時会 <佐倉市>
- 9日～10日 ・北総地区市議会正副議長会定例会及び視察研修会
<長野県上田市>
- 11日 ・旭市合併10周年記念式典 <旭市>
- 12日 ・納涼舞踊大会
- 13日 ・広域市町村圏事務組合臨時会 <佐倉市>
- 14日 ・消防組合議会臨時会 <佐倉市>
- 15日 ・印旛沼地区農業農村整備事業推進協議会総会
<成田市>
- 17日 ・八街市シニアクラブ連合会芸能・カラオケ大会
・議会だより編集委員会
- 19日 ・夏の民謡まつり
- 21日 ・神奈川県逗子市議会議員行政視察 来庁
- 24日 ・後期高齢者医療広域連合議会運営委員会及び全員協議会
<千葉市>



平成 27 年 6 月定例会議案等賛否一覧																									
議案 番号等	件名	結果	各議員の賛否																						
			議長 湯浅祐徳	誠和会										公明党			日本共産党			やちまた21	改革クラブ	無党派			
				中田眞司	小高良則	林修三	石井孝昭	木村利晴	小山栄治	小菅耕二	鈴木広美	長谷川健介	鯨井眞佐子	新宅雅子	川上雄次	服部雅恵	丸山わき子	右山正美	京増藤江	加藤弘	林政男	古場正春	桜田秀雄	山口孝弘	
市長提出議案																									
議 1	専決処分の承認（八街市税条例等の一部改正）	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○
議 2	専決処分の承認（八街市都市計画税条例の一部改正）	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 3	専決処分の承認（八街市国民健康保険税条例の一部改正）	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 4	専決処分の承認（平成 2 7 年度八街市一般会計補正予算）	承認	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 5	落花生の郷やちまた応援寄附金によるまちづくり条例の一部を改正する条例	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 6	八街市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議 7	平成 2 7 年度八街市一般会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議 8	平成 2 7 年度八街市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 9	平成 2 7 年度八街市水道事業会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 10	平成 2 7 年度八街市一般会計補正予算	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																									
発 2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発 3	国における平成 2 8 年度教育予算拡充に関する意見書	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発 4	集団的自衛権の行使を具体化する法案は廃案にすることを求める意見書	否決	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	
発 5	国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願																									
請	市道三区 3 5 号線の歩道整備を求める請願	不採択	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	

議案番号等欄 議・・議案 発・・発議案 請・・請願
※湯浅祐徳議長は採決に加わりません。
各議員の賛否欄 ○・・賛成、 ×・・反対

八街市議会 9 月定例会のお知らせ

9 月定例会は 9 月 29 日（火）から 10 月 23 日（金）までの日程で行われる予定です。
○一般質問日程（予定）10 月 2 日（金）・5 日（月）・6 日（火）午前 10 時～

編 集 後 記

6 月議会は、榎戸駅舎橋上化整備及び東西自由通路整備事業の追加議案が上程された為、会期が 4 日間延期され 6 月 23 日に閉会しました。
榎戸駅周辺の住民にとって長年の懸案事項だったこともあり 100 人近くの人が傍聴に来られました。
市民の榎戸駅舎に対する関心の高さを改めて感じました。
議会だより編集委員会では、議会だよりを通じて議会を市民の皆さんに理解、興味を持って頂けるような紙面づくりに心がけています。
議会だよりを讀んでの、ご感想ご意見をお気軽ににお聞かせ頂けたら幸いです。
暑い日が続きますが、健康に気を付けてお過ごし下さい。（小山栄治）

●議会だより編集委員会● 委員長／林 政男 副委員長／服部雅恵 委員／京増藤江・新宅雅子・古場正春・石井孝昭・木村利晴・小山栄治・鈴木広美

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。 TEL 043（443）1482

選挙に行こう！

選挙に行かない
若者は
損をする!?



子育て大丈夫かな?

雇用が不安だな…

etc…



もし、若者が選挙に行かなかったら…

投票してくれた人のため
にもがんばるぞ!

でも
若者はあまり選挙に
来てくれないからな…



近年、全国的において若い世代の投票率が低いことが顕著になっています。八街市でも、20代と60代とでは、投票率に約2倍の開きがあります。

若い世代だって税金を納めているのに、投票に行かないからといって、若い世代向けの政策が軽視されてしまっては、悲しいですね。

政治家はこんな風に考えてしまうかも!?

若い世代の投票率が上がることで、若い世代向けの政策がたくさん生まれてくるかもしれません。

来年の参議院議員選挙からは選挙権が**18歳**に引き下げられることになりました。
(平成28年6月19日以降適用)

投票することは自分の声を政治に届ける方法です!
声を届けるため、ぜひ投票に行きましょう!

八街市議会議員一般選挙の投票日

平成27年8月30日(日)

投票時間：午前7時～午後8時まで

期日前投票
(不在者投票)

場 所：市役所第4庁舎1階第4会議室

期 間：平成27年8月24日(月)～8月29日(土)

時 間：午前8時30分から午後8時まで



八街市選挙管理委員会・八街市明るい選挙推進協議会